



新うと雷物倍巻二

元在出賢世

此の巻は、雷物倍巻二の巻目である。内容は、
 雷の神や雷神の物語、また雷神の神像や
 雷神の神楽などに関する記述が主である。
 雷の神は、雷神と称され、雷神の神像は、
 雷神の神楽は、雷神の神楽と称される。
 雷の神は、雷神と称され、雷神の神像は、
 雷神の神楽は、雷神の神楽と称される。
 雷の神は、雷神と称され、雷神の神像は、
 雷神の神楽は、雷神の神楽と称される。
 雷の神は、雷神と称され、雷神の神像は、
 雷神の神楽は、雷神の神楽と称される。



山崎闇斎



望く望たうちとまし云おしゆうらこらひく
 あさうれぬゆとあうけさういけさきこもあさんと
 せしれけいよりゆいよりあんと
 けいこれよさまへのゆいこめまうして
 いほとあやかとせれぞわらうぬ
 とうみませいけいこのねとしろさんらふどくごの
 あまらのえにききしうみあやれまらんらまてとらり
 これこそさういふあこねしあんちが看ねぬよそ
 わりしうらすりけいあんとわかきゆとや乃名は
 あくゆのこあつと一首のうさにて見かろひよら
 何やあれまんとあらしいあまきたりたりまきと
 かりとせこのてししとあめけてさうらひ

